

平成26年度循環型社会形成推進功労者環境大臣表彰

受賞者のご紹介（順不同・敬称略）

3R活動優良企業

生活協同組合コープさっぽろ

北海道

北海道を網羅する自社物流網の「戻り便」を活用し、家庭などから資源物を効率的に回収し、資源回収拠点として設置したエコセンターにおいて圧縮・減容処理を行い、再利用、販売を行っています。

ホンダエンジニアリング株式会社

栃木県

研究開発で使用された化学物質の含まれる工業用水を再利用するための「工場排水のフル循環システム」を独自技術を駆使して構築するとともに、産業廃棄物のゼロエミッション活動を推進しています。

サントリー食品インターナショナル株式会社

東京都

植物由来原料を30%使用した独自開発の国産最軽量ペットボトルをミネラルウォーターに導入するとともに、国産最薄のロールラベルを導入し、省資源に取り組んでいます。

株式会社ヤクルト本社

東京都

清涼飲料用の箱型紙容器として初めて「ノンアルミ紙容器」を導入し、リサイクル適性の向上及びCO₂排出量の削減を行うとともに、商品の集積包装に「段ボールシート」集積を導入し、廃棄される段ボールを大幅に削減しています。

株式会社鼓月

京都府

製造工程で発生する小豆の皮等の残さや返品商品を飼料原料へリサイクルすることで、毎日180kg程度の廃棄食品の再資源化を達成しています。

紀南農業協同組合

和歌山県

梅干の製造工程で発生する調味廃液や残さの処理後に出る余剰汚泥と、独自に考案した脱塩装置によって処理された梅の種を樹皮と混合して堆肥化し、紀南農業協同組合の各支所で農家に土壌改良資材として販売することで、生産農家の圃場に還元され資源の循環を実現しています。

因幡環境整備株式会社

鳥取県

昭和41年の設立以来、地域の一般廃棄物の処理や水処理施設の維持管理を行いながら、近年では、地域の環境保全を前提とした循環型社会を構築すべく、食品リサイクル事業及び、容器包装プラスチックの再商品化事業を推進しております。

トータルケア・システム株式会社

福岡県

病院・介護施設や自治体から出される使用済み紙おむつから、水溶性処理技術によってパルプを取り出し再資源化する、世界で唯一マテリアルリサイクルする事業を展開しています。

3R活動推進功労（個人）

津川 なち子

徳島県

阿波踊りの期間中のごみ減量のために、平成17年から始めた「ごみゼロ阿波踊り大作戦」の実行委員長を長年務めるとともに、マイバグの推進活動への参加、徳島県環境アドバイザーとして県内学校等への出前授業の実施等にも貢献しています。

3R活動推進功労（団体）

相武台南口商店会

神奈川県

地元小学校及びその生徒と商店会の役員で、座間市の花である「ひまわり」の茎を利用した和紙づくりや、種油にバイオエネルギーの作成を行うとともに、ペットボトルや家庭廃食油のリサイクル等の様々な環境活動を行っています。

高岡市立福岡小学校児童会

富山県

20年以上にわたり地域の商工会や老人施設、卒業生等を巻き込んだ資源回収活動を実施し、さらに、アルミ缶回収の収益金の寄付による老人施設等との交流や、地域のイベント後の清掃活動等を実施しています。

特定非営利活動法人エコ・テクル岐阜

岐阜県

医療廃棄物を適正に管理するため、ICタグを活用した「環境ガードシステム」を開発し、岐阜県、静岡県各医師会協同組合、京都府保健事業協同組合への導入及び運用を行うとともに、岐阜県内での産業廃棄物の不法投棄除去事業でも運用を行いました。

特定非営利活動法人ピープルズコミュニティ

岐阜県

岐阜県輪之内町から委託を受け、資源ごみの回収及び環境学習拠点であるエコドームの管理・運営、生ごみの収集運搬処理業務を10年以上実施し、一般家庭から排出される廃棄物のリサイクル及び環境教育を推進しています。

とよたエコライフ倶楽部

愛知県

市民・事業者・行政が協働でエコライフを推進するため、買物袋持参運動、家族ぐるみで環境行動に取り組む「エコファミリー制度」の推進、牛乳パックリサイクル商品の普及に取り組んでいます。

鳥取県連合婦人会

鳥取県

昭和24年の設立以来、環境問題を活動テーマに掲げ、行政等と連携しながら、資源回収、清掃活動、生ごみコンポスト、廃油せっけん作り、マイバグ運動の実践や各種研修会の開催等を実施しています。

学校法人高見学園高見幼稚園

福岡県

園児の年齢や体調に応じた給食を自園で調理・提供することにより残食を減らすとともに、調理体験、屋上菜園等の体験学習や、残食のたい肥化など、食育と環境活動を併せて実践しています。

北九州市立井堀小学校

福岡県

校内の環境委員会の児童を中心に、全校児童で給食牛乳パックを回収し、その回収量を掲示する「環境コーナー」の設置等リサイクルの意識付けを行っており、また通学路のごみを拾いながら登校する「井堀グリーン作戦」等を行っています。